

(社) 日本原子力学会  
第 85 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 27 年 5 月 19 日 (火) 13:30～17:00  
場 所 日本原子力学会 事務局会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、宇奈手幹事、内山委員、大鷹委員、金山委員、  
近藤委員、中野委員、名倉委員、福家委員、三村委員  
柴田副会長 (12 名：委員名簿順)  
北村氏 (オブザーバー)

配布資料

資料85-1 第83回倫理委員会議事要旨 (案)  
資料85-2 2015年秋の年会企画セッション説明資料  
資料85-3 事例集  
資料85-5 平成26-27年度委員会引継資料  
資料85-6 2015年度以降の技術倫理協議会体制について  
資料85-7 第5回廃炉委開催案内  
※資料 85-4 は欠番

議事

1. 資料 85-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、了承された。柴田副会長から 3 月 13 日および 5 月 12 日の理事会でポジション・ステートメント WG では倫理委員会をオブザーバと位置付けることになったとの紹介があった。また、NHK スペシャル番組への抗議については NHK からの回答文書を受領しているとの紹介があった。今後、倫理委員会として意見表明する必要がある場合に備え、適切に対応できるよう基本的な考え方を整理しておく必要があるとのコメントがあった。
2. 今年度の倫理研修として大場委員長から、北陸電力の“原子力安全文化・モラル教育に関する支援業務”と JAEA の社員研修が予定されているとの説明があった。このことにより得られる収入を有効活用するため、倫理規程の前文と憲章を英文化する方向で検討することとした。
3. 次回の倫理研究会で取り扱うテーマを協議した。志賀原子力発電所の断層に関する議論をテーマとする案、福島第二原子力発電所の震災当時における所長のリーダーシップをテーマとする案などが出された。次回倫理研究会担当 (近藤委員、辻委員) にて内容を検討し、次回委員会にて議論することとした。
4. 資料 85-2 により 2015 年秋の年会企画セッションについて中野委員から説明があった。セッションを通じて倫理委員会として期待される成果を明確にしておく必要があるとのコメントがあった。
5. 資料 85-5 により理事引き継ぎ用資料について宇奈手幹事から説明があった。資料中ミッションとして“倫理問題に関する意見の表明”が記載されており、また、意見表明において基本的な考え方を整理しておく必要があるとの議論もあった (本議事録 1 項参照) が、平成 27 年度へ引き継ぐ事項リストに該当する項目がないことから、資料を修正することとした。

6. 資料 85-6 により技術倫理協議会の今後の体制について宮越副委員長から説明があった。今年度からは大場委員長、中野委員の 2 名が参加することとなったが、2016 年度からの副議長および 2018 年度からの議長への就任は現時点では保留することとした。
7. 資料 85-7 により廃炉委員会の次回案内について宮越副委員長から説明があり、次回以降対応する委員について協議した。本件一旦保留とし、委員長、副委員長、幹事にて別途協議することとした。
8. 資料 85-3 により事例集の作成状況について宇奈手幹事から説明があった。前回委員会での協議結果に基づき、全員にレビュー依頼を行ったがコメントが一部の委員からのみであり、“検討のポイント”、および“言葉の解説”については更に議論・確認が必要であるとの懸念が示された。この状況を受けて、再度タスクチームを編成することも含めて進め方を委員長、副委員長、幹事にて別途協議することとした。また、現時点での全文をレビューのために委員に送付することとした。
9. 次回の倫理委員会は、H27 年 7 月 7 日とするが、場所については追って連絡することとした。

以上